

## 授業科目 機能解剖学 I

【担当教員名】 永野 康治		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 解剖学の内、運動器（筋・骨格）に焦点を当て、講義を行う。本授業では身体の各部位ごとに、骨格、関節構造について学習する。更に、スポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作やトレーニングへの応用についても講義し、スポーツ現場における指導の基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 身体における運動器の役割についてまとめる。 2. 各部位の骨格および骨指標を記述し、記憶する。 3. 各関節の関節構造、関節運動を記述し、記憶する。 4. 各部位の骨格、関節構造、関節運動とスポーツ外傷・障害を関連づける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、運動器の概要			1	講義
2	骨の構造と骨格 上肢 1			1	講義
3	骨の構造と骨格 上肢 2			2	講義
4	骨の構造と骨格 下肢 1			2	講義
5	骨の構造と骨格 下肢 2			2	講義
6	骨の構造と骨格 体幹			2	講義
7	骨の構造と骨格 まとめ			2	理解度確認テスト
8	関節の構造と関節運動 上肢 1			2	講義
9	関節の構造と関節運動 上肢 2			2	講義
10	関節の構造と関節運動 下肢 1			2	講義
11	関節の構造と関節運動 下肢 2			2	講義
12	関節の構造と関節運動 下肢 3			2	講義
13	関節の構造と関節運動 体幹 1			2	講義
14	関節の構造と関節運動 体幹 2			2	講義
15	関節の構造と関節運動 まとめ			2	理解度確認テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		公認アスレティックトレーナー専門科目 テキスト2：運動器の解剖と機能 筋骨格系のキネシオロジー	財団法人 日本体育 協会 嶋田智明	財団法人 日本体育 協会 医歯薬出版	2005・10,000円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】 毎回の授業終了時に小テストを行う。			